

第40回 SCCJセミナー開催のご案内

本セミナーは化粧品を創るためのさまざまな分野からテーマ選定をしてみました。今回は「紫外線防御化粧品を支える技術と製剤 ー基礎から最新技術までー」と題し、製剤開発において重要な技術目標のひとつである紫外線防御をテーマに取り上げました。セミナーの企画に際しては、光に関する基礎的情報とともに、製剤を検討する上で重要と考えられる測定方法や規制、さらに最新の製剤技術の紹介まで幅広い内容を取り上げました。今回のセミナーでは大学から2名の先生、業界から5名の先生を講師としてお招きし、さまざまな関連した基礎研究や技術動向について広くお話しいただきます。また本セミナーの特色でもある、講演後の講師の先生方と意見交換ができるフリーディスカッションの場もご用意いたします。講師の皆様と直接議論する事で、聴講するだけでは得られない新たなヒントも見つけられるものと思います。こちらにも奮ってご参加ください。

記

日時 2012年9月28日(金) 10:00~17:45 (受付開始9:30)
会場 セミナー：公益財団法人 大阪国際交流センター 大ホール
フリーディスカッション： 同会場 さくら東西
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
<http://www.ih-osaka.or.jp>

参加費

会員（正・準・シニア）	13,000 円
代理出席（注1）	13,000 円
非会員	19,000 円
当日受付（会員・非会員共に）	19,000 円

(注1) 正会員1名につき代理人1名が代理出席を利用できます。

(正会員が不参加の場合)

申込方法

同封のFAX申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXを送信願います。

FAX ⇒ 045-590-6093

申込FAXを受け付けましたら、確認のFAXを事務局から発信致します。3日～4日以内に確認のFAXが届かない場合は、事務局までご連絡をお願い致します。参加証はお送りしませんのでご了承願います。

<申込締め切り日 9月14日(金)>

<振込締め切り日 9月21日(金)>

お振込みの際、振込人氏名(御社名)の前に**40**をご記入願います。

振込先

みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932

「日本化粧品技術者会 代表 嶋原 靖宏(シギハラ ヤスヒロ)」

キャンセルおよび複数同時のお振込みの詳細は最終ページをご覧ください。

紫外線防御化粧品を支える技術と製剤

— 基礎から最新技術まで —

< スケジュール >

<総合司会 早瀬 基(株カネボウ化粧品)>

時間	題目・講師
10:00～10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 鈴木 裕二

<座長 久留戸 真奈美(株エフシージー総合研究所)>

10:05～10:55	太陽光線に対する皮膚生理反応について 東京工科大学 応用生物学部光老化研究室 教授 正木 仁先生
10:55～11:35	紫外線防御効果測定法に関する最近の動向について (株コーセー研究所 基礎研究室有用性研究グループ 水野 誠氏
11:35～12:40	昼食休憩

<座長 寺崎 克彦(牛乳石鹸共進社(株))>

12:40～13:20	化粧品開発に用いられる紫外線防御素材 ポーラ化成工業(株) 開発研究部メイクアップ開発室 本間 茂継氏
13:20～14:00	高い紫外線防御効果とみずみずしい感触を 両立させたサンスクリーンの開発 (株カネボウ化粧品 スキンケア研究所商品設計第一グループ 小田島 秀樹氏
14:00～14:40	デイリー使用向けのUVケア化粧品の開発 花王(株) スキンビューティ研究所 井下 美緒氏
14:40～14:50	休憩

<座長 吉岡 隆嗣(大日本化成(株))>

14:50～15:30	毛髪の紫外線ダメージ — 評価指標とダメージケア— (株資生堂 リサーチセンター 渡辺 智子氏
15:30～16:20	世界初の宇宙帆船「IKAROS」による太陽系大航海 宇宙航空研究開発機構 月・惑星探査プログラムグループ 助教 森 治先生

<総合司会 早瀬 基(株カネボウ化粧品)>

16:30～17:40	フリーディスカッション
17:40～17:45	閉会の挨拶 セミナー副委員長 林 照次

講演① 太陽光線に対する皮膚生理反応について

東京工科大学 応用生物学部 光老化研究室 教授 正木 仁先生

要旨：太陽光線曝露による急性皮膚反応として、私たちは紅斑反応、即時、遅延黒化反応を確認することができる。これらの反応は表皮細胞、線維芽細胞の核 DNA 損傷、および、産生亢進した活性酸素等によって引き起こされる。慢性的な皮膚生理反応としては、光老化皮膚に代表されるシワやタルミの形成を促進するような動きが活発化する。このような生理反応は、これまで UVB を中心に議論されてきたが、近年では、UVA はもちろん赤外光線の寄与についても明らかにされつつある。そこで、本講では、サンスクリーン効果の重要性について再認識することを目的とし、太陽光によって惹起される皮膚生理反応について解説する。

講演② 紫外線防御効果測定法に関する最近の動向について

(株)コーセー研究所 基礎研究室 有用性研究グループ 水野 誠氏

要旨：日焼け止め化粧品の紫外線防御効果は SPF や PA といった指標で表されているが、これは日本化粧品工業連合会(粧工連)が自主基準として示した試験法に基づき測定されたものである。これらの測定法は国際的なハーモナイゼーションが進んでおり、昨年、一昨年には国際標準化機構(ISO)から測定法としての国際基準も出されている。本講演では、測定法に関する最近の国際的な動向について説明するとともに、日本において新たに導入される予定の UVA 防御効果表記に関する新基準についても紹介する。

講演③ 化粧品開発に用いられる紫外線防御素材

ポーラ化成工業(株) 開発研究部 メイクアップ開発室 本間 茂継氏

要旨：天候・季節による強弱の差はあれ、屋外活動の中で人は常に紫外線を浴びている。紫外線から身を守るために紫外線防御機能を有した化粧品が使用されるが、化粧品開発においてその機能を付与するために、無機粉末(微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛など)である紫外線散乱剤と、有機化合物である紫外線吸収剤が用いられる。本講演では、一般的に用いられる紫外線散乱剤と紫外線吸収剤の特徴を紹介するとともに、弊社開発素材である新規水分散型微粒子酸化チタンについて報告する。

講演④ 高い紫外線防御効果とみずみずしい感触を両立させたサンスクリーンの開発

(株)カネボウ化粧品 スキンケア研究所 商品設計第一グループ 小田島 秀樹氏

要旨：サンスクリーンは使用シーンに応じて求められる目的と機能が異なる。レジャー使用時には強い日差しに耐えうる高い紫外線防御効果や汗・水に強い耐久性が必要になる。それに対してデイリー使用時には日々使用するものであるため、紫外線防御効果だけでなく日常生活時にストレスを感じないみずみずしい感触が求められる。本講演では、前者に着目し、レジャー使用可能な機能とみずみずしい感触を両立させた水中油型サンスクリーン製剤の開発について説明する。

講演⑤ デイリー使用向けの UV ケア化粧品の開発

花王(株) スキンビューティ研究所 井下 美緒氏

要旨：近年、紫外線から肌を守りたいという意識の高まりを背景に、海・山などのレジャー用に限らず、日常的に UV ケア化粧品が使用されるようになり、求められる機能が多様化している。デイリー使用時には、紫外線防御効果だけではなく、「塗布時の透明性」、「肌を覆う圧迫感のなさ」、「保湿性」「やさしいつけ心地」など、肌に負担の少ない使用感が望まれている。本講演ではこのようなデイリー使用向けの使用感や保湿性を重視した紫外線防御素材と製剤化技術について紹介する。

講演⑥ 毛髪の紫外線ダメージ – 評価指標とダメージケア –

(株)資生堂 リサーチセンター 渡辺 智子氏

要旨：近年肌に対する紫外線防御の意識は高まってきたが、毛髪は肌のようにほてりや赤みといった反応が伴わないため、依然として紫外線に曝されやすい。実際には日常生活でも紫外線による軽微なダメージを受けており、それが蓄積すると実感できるレベルの大きなダメージを引き起こす。初期の軽微なダメージを検出できれば、ダメージの定量・ダメージケア製品の効果測定が可能となる。本講演では紫外線による毛髪ダメージの特長とダメージの検出・定量法及びダメージケアについて述べる。

講演⑦ 世界初の宇宙帆船「IKAROS」による太陽系大航海

宇宙航空研究開発機構 月・惑星探査プログラムグループ 助教 森 治先生

要旨：宇宙帆船(ソーラーセイル)は、太陽光の圧力をセイル(帆)に受けて、燃料なしで推進力を得ることができる夢の宇宙船である。このアイデア自体は約 100 年前からあり、世界中で研究開発が行われているが、技術的なハードルが非常に高くこれまで実現されていなかった。宇宙航空研究開発機構(JAXA) IKAROS チームは、若手メンバー主体で予算・スケジュールを厳しく制限されながらも、世界最先端の材料技術を駆使し、日本の伝統である「折り紙」を取り入れるなど創意工夫も凝らして IKAROS を開発し、世界で初めて宇宙帆船を実証することに成功した。本講演では、IKAROS の成果および今後の宇宙探査の展望に加え、この困難なプロジェクトにどのように立ち向かっていったか、挑戦することの素晴らしさについても述べる。

<お願い事項>

- 振込締め切り日は9月21日(金)ですが、お申し込み後にキャンセルされる場合は、同日の**9月21日(金)**までにご連絡をお願い致します。参加費納入済みの場合には、後日返金致します。**9月22日(土)**以降にキャンセルされたときは、ご返金致しませんのでご了承ください。
- 申込書に記入された振込金額と異なる場合は、必ず事務局まで**FAX (045-590-6093)**にてお知らせ願います。入金確認業務の円滑化にご協力をお願い致します。

<お問合せ・お申し込み先>

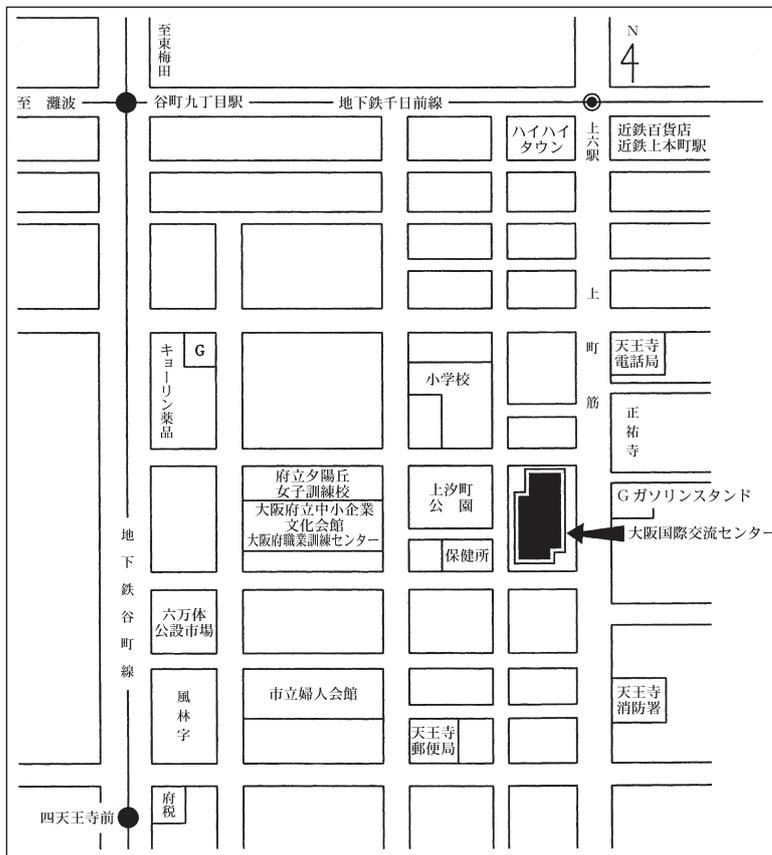
日本化粧品技術者会 事務局 (森、内藤)

〒224-8558

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1資生堂リサーチセンター(新横浜)内

TEL: 045-590-6025 FAX: 045-590-6093

<会場地図>



■交通アクセス

- 地下鉄梅田方面からお越しの方:「谷町九丁目」下車徒歩10分
- 地下鉄天王寺方面からお越しの方:「四天王寺前」下車徒歩10分
- 近鉄利用の場合:「上本町」下車徒歩5分